

ワークシート③-1 UDの対象

下線にあてはまる語を書きましょう。

名前 _____

利き手の UD

日本人の約 __%が左利きだといわれており、様々な場面で不便を感じている。

_____ ようにという UD の目的から、右利きでも左利きでも使用することが可能なデザインが必要である。

左利きの人のことも考えた利き手の UD は、利き手が使えなくなった右利きの人に対する助けにもなり、どちらかの利き手の人だけの _____ にしないことは多くの人に対するメリットになる

年齢に対する UD

乳幼児から小学校入学の直前までは _____ に危険が潜んでいる。例えば、バスやエスカレーターの ____。この危険をなくすために、バスであれば _____ と呼ばれる段差が最小限のバスが運行されている。乳幼児だけではなく、様々な人の障害となる ____ を取り除くことができる UD である。

小学校でも _____ を選ばないハサミなど、どのような人でも楽に使用することが可能な文房具がおかれている学校が増えた。そのほかにもスロープ、 _____ が設置されている学校も多い。

大人になり、社会に出ると多種多様な事情を抱えた人と出会う。多くの人に対応した UD の例として電車の _____ がある。この席は以前までは高齢者のみが使用できた _____ であったが、障がい者や妊婦の方が優先して利用できるようになった。 _____ から使いやすさを追求した UD が多くみられる。

高齢になると体を自由に動かせなくなり、体に負担がかかるため、それらを解決するための UD が多くみられるようになる。信号機などには _____ のサインや _____ の誘導で情報を伝達している。

様々な年代に応じた UD が工夫されているが、それらは特定の人に特化したものではなく、 _____ に考えられたデザインで、多くの人に _____ に扱えるようにしたものである。